

拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成10年 特許願 第191925号
起案日	平成13年 7月27日
特許庁審査官	手島 聖治 9853 5H00
特許出願人代理人	曾我 道照 (外 6名) 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

(請求項1, 8について) 引用文献 1~3

引用文献1には、低解像度の二進映像を高解像度の映像に再構成する際に、前記二進映像を複数のブロックに分割する段階と、ブロック毎に内挿画素の値を決定し高解像度の映像を得る手段とを具えた、二進映像の内挿が記載されている。

請求項1に係る発明と引用文献1に記載の発明とを比較すると、請求項1に係る発明では、

- (1) ブロックの位置にしたがってボーダリングしている点
 - (2) 内挿画素の値を求める際に、コンテキストテンプレートを形成し、前記コンテキストテンプレートのインデックスを利用してコンテキスト確率表より対象
- 続葉有

続 葉

内挿画素の確率を求め、該確率値にしたがって画素の値を決定している点で相違がみられる。

上記相違点（１）について検討する。引用文献２には、ブロックの位置にしたがってボーダリングすることが記載されている。引用文献２記載の発明も、ブロック毎に分割して解像度変換を行うものであるから、より高精度に解像度変換をするために引用文献１記載の発明に引用文献２記載の発明を付加することを当業者は容易に想起する。

上記相違点（２）について検討する。内挿画素の値を求める際に、確率評価器（１６）によりコンテキストテンプレートのインデックスを利用して確率推定値を求め、算術復号エンジン（１２）により該確率推定値に基いて対象画素の値を決定することが記載されている。引用文献２記載の発明も周囲の画素を用いて内挿することにより、高解像度の画像（復号後の画像）を得るものであるから、内挿画素の値の決定方法として、引用文献１記載の発明に引用文献３記載の発明を適用することを当業者は容易に想起する。

したがって、請求項１に係る発明は引用文献１～３に記載された発明に基いて、当業者が容易に発明をすることができたものである。

（請求項２について） 引用文献 １～３

二進映像をどのようにブロック分けするかは、当業者が適宜設定しうる設計的事項の選択にすぎない。

（請求項３について） 引用文献 １～３

引用文献２記載の発明も当該ブロックの左側及び上側のブロックの情報を用いているから、当然、左側及び上側のブロックがあるか否か（当該ブロックが最左側または最上側であるか否か）を検出している。

（請求項５，１１，１２について） 引用文献 １～３

一般に周囲の画素を用いて補間する際、画像の端においては任意の値を用いることは広く行われていることである。

（請求項６について） 引用文献 １～３

引用文献３には、確率推定値を得るテーブルを符号化装置及び復号化装置に用いることが記載されている。

（請求項７について） 引用文献 １～３

続 葉

引用文献 3 記載の発明も、確率推定値（多値）に基いて内挿対象画素の値（二進値）を求めるものである。多値データを二進データに変換する際に、閾値を用いることは一般的に行われていることである。

(請求項 13 について) 引用文献 1～3

内挿をフレーム単位やVOP単位で行うことは、適宜設定しうる設計的事項の選択にすぎない。

(請求項 15, 22 について) 参考文献 1~3

引用文献 1 には、図 7 にあるように、水平方向に内挿してから、垂直方向に内挿することが記載されている。

(請求項 16 について) 引用文献 1～3

引用文献 2 記載の発明も、隣接ブロックの情報を利用している。

引用文献等一覽

1. 特開平 6-334844 号公報
2. 特開平 7-95394 号公報
3. 特開平 9-93440 号公報

この拒絶理由通知中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野	I P C第7版	G 0 6 T	1 / 0 0	—	9 / 4 0
		H 0 4 N	1 / 3 8	—	1 / 4 1 9
		G 0 6 F	1 7 / 1 7		

DB 名

・先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

続葉有

発送番号 229478
発送日 平成13年 8月 7日 4 / 4

続 葉

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 画像処理 広島明芳

TEL. 03(3581)1101 内線 3531 FAX. 03(3501)0715